

平成17年1月27日

各 位

会社名 三協・立山ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 要明 英雄  
(コード番号3432 東証・名証・大証各第一部)  
問い合わせ先 広報室部長 上野 貴司  
(電話 0766-20-2332)

立山アルミ 中期経営改革計画の進捗状況について

平成16年7月29日に公表いたしました、当社子会社立山アルミニウム工業株式会社の「中期経営改革計画」に関しまして、進捗状況を下記の通りお知らせいたします。

記

【効果実績および計画】

(単位:百万円)

	平成17年5月期(立山アルミ第84期)						19年5月期 (第86期) 計画
	上期		下期		通期		
	計画	実績	計画	見込	計画	見込	
事業体質の強化	200	261	100	100	300	361	1,000
仕入れ商品のコスト削減	200	303	200	100	400	403	1,000
経費の適正・効率化	100	122	150	130	250	252	800
有利子負債の圧縮	0	0	50	0	50	0	200
合計	500	686	500	330	1,000	1,016	3,000

【進捗状況】

事業体質の強化

改善の即効性が高い事業系費用の削減が先行し、上期計画を達成する結果となった。一方、事業の構造・体質の強化は、事業本部制による業務の統合効果を生む等、徐々に効果を現しているが、営業拠点の再配置等は下期に向けた準備体制にある。

仕入商品コストの削減

仕入商品コストの低減は従前より課題として捉えており、東京での集中購買体制の構築等が軌道に乗った結果、上期計画を達成したと評価をしている。下期は、大阪、名古屋での取り組みを進める。他方、資材価格の上昇等があり、コスト削減には厳しい環境であり、利益確保には優先テーマとして、施策を着実に推進する。

経費の適正・効率化

総務購買経費の使用指針を全社に示すと共に厳格な運用を行ったことで、社内の目標が明確となり、経費削減の上期目標は達成した。今後新たな削減指針を示し、さらに削減を進める。

有利子負債の圧縮

上期の効果計画値はゼロとしている。下期計画達成に向け、株式、不動産の売却の交渉を進めると共に、在庫の圧縮を進めている。

以上